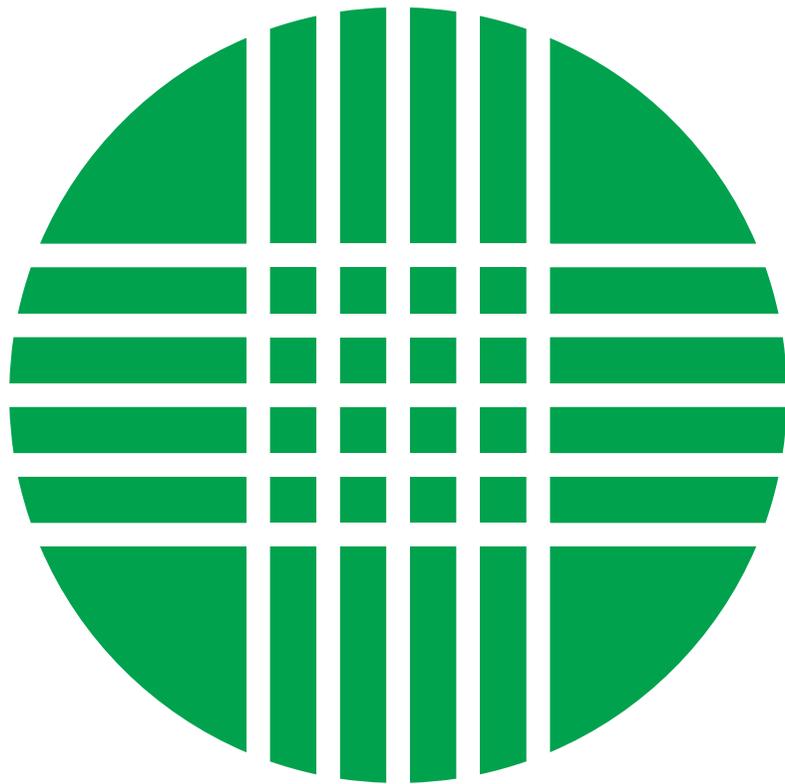


九州オリент測量設計株式会社
50周年記念誌

Kyushu-Orient
Survey & Design Co.,Ltd.

50th anniversary
commemorative
publication



orient  ing

株式会社 オリент アイエヌジー

Kyushu-Orient
Survey & Design Co.,Ltd.

50th anniversary
commemorative
publication

50周年記念誌

好きだから、
知ってほしい。

九州オリエント測量設計(株)は
創業から50年を迎えました。
高度経済成長長期からこれまで、
長崎のまちと人と共に生きてきた会社。
長崎のまちと人が好きすぎるメンバーによって
半世紀の時をつないできました。

突然ですが、
私たちには長年の悩みがあります。
まちと人と共に半世紀、にもかかわらず
「どんな技術を持っているのか」
「どんな事業に取り組んでいるのか」
ほとんど知られていないことです。
長崎への想いが強いだけに
片想いをしている気持ちになります。
それも半世紀にわたる片想いです。

そこで、この50周年記念誌では、
九州オリエント測量設計(株)のことを
あらためてお伝えすることにしました。
抱えきれない、いや、
測りきれないほどの長崎愛を胸に、
「まち」と「未来」に多角的に関わる
わたしたちの真の姿を
知っていただくと嬉しいです。

好きになってとは言いません。
まずはお友達から……。
よろしく願います。

これからも、まちと人と共に

Contents

- 04 オリエントの仕事
- 07 七つ道具
- 08 発展の一端を担って。
- 12 意外!?こんなこともしています。
- 16 街愛 -社会貢献活動と寄贈-
- 18 50周年プロジェクト
- 20 50周年企画 オリエン党総選挙
- 22 話そう長崎のこと①
- 24 話そう長崎のこと②
- 26 これが未来の長崎だ!
- 28 新社名・新ロゴ
- 30 スタッフ・社長あいさつ

President Profile



代表取締役
中島 靖人
Nakashima Yasuhiro

就任期間
2012年4月→→→

[Profile] 1972年生まれ、長崎市出身。海星高等学校卒業。東洋大学工学部建築学科～長崎総合科学大学 大学院 工学研究科 構造工学専攻卒業。1998年4月、九州オリエント測量設計株式会社へ入社、補償部(現在の調査部)に配属。2010年9月 同社 理事就任、2012年4月 同社 代表取締役就任。長崎のまちぶらプロジェクト認定事業「雨の足音(雨のまちぶらマップ)」代表、「2015年度 グッドデザイン賞 地域・コミュニティづくり」受賞 プロデューサー。「禁教期のキリシタン研究会」監事、市民活動団体「+ing(プラスアイエヌジー)」代表。

Founder Profile



創業者
中島 健二
Nakashima Kenji

就任期間
1967年10月→→→2012年3月

[Profile] 1942年生まれ、長崎市出身。瓊浦高等学校夜間部定時制卒業。長崎工業専門学校～日本測量専門学校卒業。山口県小野田市(現在の山陽小野田市)にある「オリエント測量設計株式会社」に入社。1967年10月 同社より分社独立し「九州オリエント測量設計株式会社」を設立。高度経済成長期の団地及び学校建設に伴う測量のほか、長崎大水害及び雲仙普賢岳噴火災害等の復旧事業にも従事。その他、長崎県私立中学高等学校協会会長、PTA連合会会長、(旧)長崎県測量設計業協会副会長などを歴任。

こんなことをしています。

まちづくりや暮らしづくりに様々な専門技術で関わるオリエント。なるべくわかりやすく、専門的な言葉は使わずに、わたしたちの仕事の大きく6つの種類にわけてご紹介します。

測量

日焼けは
日常茶飯事。



Staff Voice

自分の測量をもとに設計が行われ、実際に道路などが作られます。関わった仕事が目に見える形で残り、地図にも残ることで、社会的貢献を果たしていることを実感できます。

●趣味：ダーツ

青崎 怜央 (H25年入社)

スタートはいつも「測量」。

広く言えば「地球を測る」仕事。その中でも私たちはこの半世紀「長崎」をメインに測量してきました。実は、全

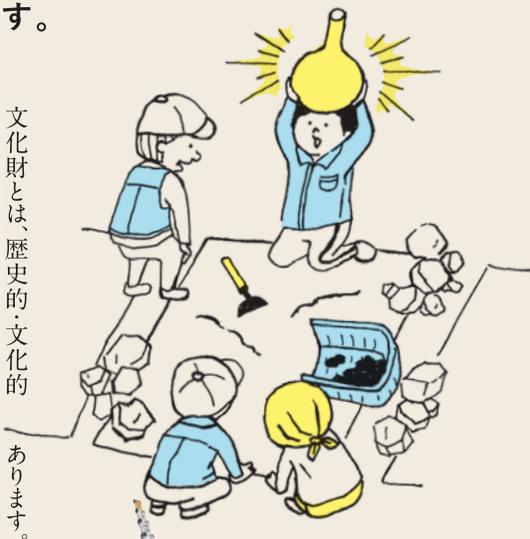
必要となります。家を建てようとするのと広さを知る必要があります。海を埋め立てようとするれば深さを知る必要

の生活のはじまりが測量であることを皆さんに知っていただきたいと思えます。例えば、まちをつくるには道が

があります。これら全てが測量の仕事であり、まちづくり上げることへつながっています。測ることがスタートなのです。

文化財

歴史好きの
マイペース。



Staff Voice

人類の歴史が生み出した、過去から現在へと受け継がれてきた文化財の調査に携わることを誇りに思っています。出土品等を有効的に保存活用するため、日々の調査を慎重に行っています。

●趣味：馬に乗ること。食べること。

波多野 芳郎 (H28年入社)

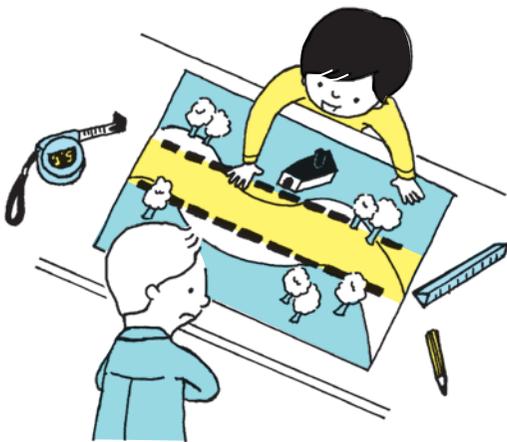
歴史・文化から学び、まちづくりに活かす。

文化財とは、歴史的・文化的に価値が高いもの。長崎には数多くの文化財や文化的景観、伝統的建造物群が存在します。これら文化財を測量

あります。歴史観や情緒を感じるまちなみには、文化財の特長が活かされているケースが多々あります。まちづくりは「故きを温ねて新しきを知る」のもと進んでいると言っても良いでしょう。

設計

こだわりだしたら
止まらない。



Staff Voice

「あっちの島まで渡りたい」という声に応じて橋ができ「迂回せず楽に行きたい」という声に応じてトンネルができる。自ら考えた計画・設計で地域のニーズにこたえ発展に貢献できるやりがいがあります。

●趣味：夏フェスとスノーボード

藤山 拓也 (H27年入社)

暮らしに欠かせない
ライフラインを設計。

設計と聞くと、ほとんどの方はまず住まい等の建築の設計を頭に浮かべると思いますが、私たちの仕事は「土木の

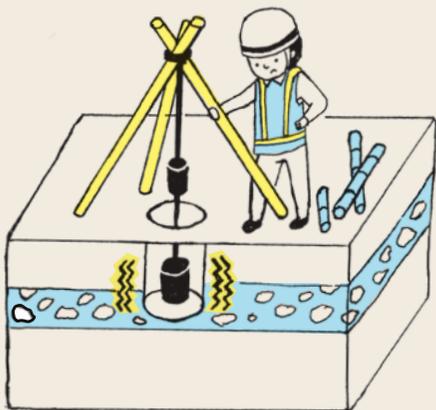
計のキーワードは「安心」と「永続的」。例えば道路を設計する際は、みんなが安全に通行できる道路と歩道の

設計」。道路・橋・河川・港・下水道など、皆さんの生活に欠かせない、いわばライフラインの設計を担っています。土木設

幅、無理なく曲がりきれれるカーブや勾配などを決めていきます。永続的に通れるように設計します。

地質

体はがっちり、
仕事はきっちり。



Staff Voice

目測できない地下の状態を判断することは非常に難しく、答えが一つで無いこともあります。地味な印象のある地質調査ですが、高い想像力と技術力が求められ、やりがいがあります。

●趣味：スキューバダイビング
(地滑り調査で潜ったのがきっかけ)

嵩下 康介 (H19年入社)

まちの安全は
地盤から。

広く言えば「地球を調べる」仕事。丈夫でより安全な構造物をつくるためには、構造物を建てても大丈夫な地盤の堅さがあるのかを知る必要があります。地面の中はどうなっているのか見えないので、

ボーリングという細長い管で地面を深くくり抜く作業で、地層や土の性質を調べます。目には見えない裏方の仕事ですが、地球のことを最も身近に感じることが出来ます。

調査

知りたがりの人見知り。



Staff Voice



立ち退きに際し、補償金を算出するための調査も行います。神社・仏閣、銀行、ラブホテルなど通常は入ることができないところに入り調査できる面白さがあります。

●趣味: ゆるキャラの追っかけ

渡邊 紗織 (H21年入社)

まちを知ることが未来を守る。

調査にも様々な分野がありませんが、私たちは主に、一般住宅・公共施設・歴史的建造物など、その建物がどのような材料で建てられ、どのように保存していくのがよいかなど、より専門的な調査・分析を

行っています。長崎には日本初の鉄筋コンクリート造りの集合住宅や日本に現存する最古の木造洋館などがあります。実際に目で見て、触れられる環境にあるのは私たちの強みであると言えます。

企画

ひとこと多いプランナー。



Staff Voice



航空写真を基に作成した基盤データをもとに、社会的要因を加味して机上で土砂災害警戒区域や特別警戒区域の設定を行っています。土砂災害や斜面工事のニュースなどは意識的にチェックしています。

●趣味: 阪神タイガース

木原 由紀子 (H16年入社)

まちと人に触れ地域とつながる。

物事を実現するための計画を立てるのが主な仕事。まちづくりや都市計画、道路などに関する計画や構想の策定、交通解析なども行っています。その計画に基づいて測量や設計、調査などの仕事を

進めていきます。仕事を通し、協議会やワークショップなどで、商店街や地元の方など多くの人とのつながりが生まれることが、企画の仕事の醍醐味です。

3

スタッフ

スタッフは大きな物差し。伸ばせば最大7メートルにもなります。主に地面の高低差を測る時に使います。左側の大きな数字がm単位、右側の小さな数字がcm単位、その間のmm単位まで測ることが可能です。大きいけれど、細かい仕事してくれます。



ミニミニが伸びるよ!

これ一本で1/100、1/200、1/250、1/300、1/500、1/600の尺度が測れます。

目盛りはカメラと間違っただからカメラレベル!!!



1/200の縮尺でかかれた回角。

2

サンスケ (三角スケール)

6種の縮尺を、面倒な計算なしで測れる定規。

覗くと望遠鏡のようになっています



レーザー光を出し、跳ね返ってきた速さで距離・角度を測ることが出来る機械。あらゆる測量現場で最も多く使用されています。

1

トータルステーション

子どもたちがカメラと間違っただからカメラレベル!!!

七つ道具

Orient seven tools

ポール

これは見たことがある!という方も多いいのではないだろうか。赤白のカラーリングで、長さは約2m。対象物のだいたい長さや大きさが分かる棒です。

必殺技 ポール横断
ポール2本を水平、垂直に置いて地面の勾配を測定できます。



ポール
斜面



長さは2.7cm~20.5cmまでいろいろ



白………測量の基準
赤&青……道路計画の中心など。
黄色………新しくつくる道路の基準

金属釘
道路に打ち込む鉄。冬場のアスファルトは夏に比べて固いので大変です。頭の部分につけるキャップの色によって用途が分かれています。

6

まつすぐな気持ち

測量の技術だけではありません。この街のすべてを愛するからこそ、まつすぐな気持ちで測ります。だから正確!!!



発展の一端を担って。

1967.10.1

設立



創業の二九六七年（昭和四十二年）は、「いざなぎ景気」による高度経済成長期の真っ只中。政府は補正予算で第二次世界大戦後初の建設国債の発行を閣議決定し、それを原資とした公共事業すなわち財政投資が新たに始まった年でもあります。

それから約十年、並行して道路や河川、港湾など様々な測量業務はもちろんのこと、各種台帳整備など県内各地で行いつつ、本格的に設計および調査業務などの事業も開始しました。

その当時は、電卓の普及率も低く、手回し計算機を使用。図面作成においても製図板で手書きが主流の時代でした。

1982.7.23-24 長崎大水害



忘れもしない、入社して5年目の夏です。平穏な日々が、一瞬で、残業・徹夜続きとなりました。アルバイトの女性も10人ほど加わり、復旧に努めました。激務続きの後に慰安旅行でデイズニランドへ行ったことも思い出されます。

岩永 千治 / (S52年入社)

一九八〇年代、長崎は大きな災害に見舞われます。

『長崎大水害』です。

一九八二年に発生した集中豪雨は、長崎市内の観光名所での重要文化財でもある眼鏡橋を半壊し、市内繁華街の浜町では一メートル近く冠水しました。隣接の長与町では時間の雨量が二八ミリメートルと日本における時間雨量の歴代最高記録になるほど「未曾有の大災害」となりまし

た。災害当時、オリエントは長崎市内の中心部を流れる「中島川」・「浦上川」へ測量調査業務に入り、約三年間復旧・復興に努めました。

それ以降、日本はバブル景気に突入し、ワープロやポケットコンピュータなどが主流となっており、図面作成などにも電子化の動きが活発になってきた時代でした。

仕事年表

年代

1960

- 西山団地測量
- 佐世保刑務所移転敷地確定測量
- 鬼岳公園車道新設工事路線測量委託
- 滑石小学校予定地地形測量
- 西山団地（仮称）境界設定測量
- 女の都団地測量工事
- 矢上団地測量工事
- 小江川台帳整備測量工事
- 野田川砂防台帳整備測量工事
- 喜々津川台帳整備測量工事
- 八郎川台帳整備測量工事

1970

- 長崎港（神ノ島地区）水深測量調査
- 長崎港皇后島地形測量
- クラブ1邸地区観光施設整備計画区域及びその周辺測量
- 雲仙諏訪の池国民休暇村取付車道測量設計
- 長崎漁港三重地区第1・第2・第3地区縦横断面測量工事
- 原爆被災地復元図マイラーベース原図トレース
- 九州横断自動車道土地境界確認測量工事
- 長崎港（皇后地区）ふ頭用地造成工事測量調査
- 銅座川河川測量調査
- 水無川河川測量
- 諫早中核工業団地縦横断面測量業務
- 油木団地測量委託
- （仮称）岩屋小学校予定地縦横断面測量委託
- 長崎港小ヶ倉柳埠頭深淺測量
- 時津第7工区埋立地確定測量委託
- 第6回拡張計画地上権設定に伴う測量委託工事
- 西山団地確定測量委託工事
- 九州自然歩道整備事業測量委託工事
- 島原港海岸保全工事（地形測量）
- 浦上川河川台帳整備工事
- 大野原演習場 障害防止事業
- 北部処理区下水道台帳作成委託
- 九州地区国立大学島原共同研修センター測量工事
- 青方治水ダム建設事業
- （工業用道路測量設計業務委託）
- 市住居表示台帳作成

1980

- 長崎漁港（小江地区）工業用地造成事業埋立地測量及び求積図作成
- 河川災害復旧測量委託
- 河川災害復旧測量委託（横断40・平面60）
- 浦上川測量業務委託
- 浦上川災害復旧助成工事（文量測量）
- 浦上川災害復旧助成工事（三川川測量）委託
- 浦上川災害助成（用地中杭測量）
- 九州横断自動車道建物調査委託業務（江の串工区）
- 中島川河川激甚災害対策特別緊急工事建物調査委託
- 上五島石油備蓄基地地形測量委託
- 中島川河川激甚災害対策特別緊急工事（調査）
- 長崎漁港用地造成測量委託（4地区）
- 主要地方道長崎多良見線道路改良測量設計委託
- 長崎漁港ニュータウン実施設計委託（第4地区）
- 南部処理区測量設計業務委託
- 金比羅公園整備計画業務委託（測量）
- 教育財産台帳整備委託
- 稲佐山公園測量業務委託
- 稲佐山公園園路測量及び設計業務委託
- 長崎港再開発事業に伴う元船日通倉庫調査委託
- 稲佐山公園測量業務委託
- 二本松団地公営住宅建設に伴う敷地測量造成設計業務委託
- 一般県道383号改築工事（測量設計）
- 浦上川環境整備工事（測量委託）
- いこいの里開発計画に伴う用地測量
- 長崎港市再開発用地造成工事（物件調査委託）

1990

- 2級河川現況台帳作成業務委託（1工区）
- 総合運動公園用地測量業務委託（その1）
- 農業用施設災害復旧事業査定設計業務委託（III工区）
- 西部処理区小浦町測量設計及び調査業務委託
- 平和公園測量業務委託（その2）
- 一般国道324号道路改良用地測量業務委託
- 伊木力ダム用地測量業務委託
- 小ヶ倉茶屋緑測量業務委託（出雲工区）
- 安中三角地帯新切莫地調査業務委託（その2）
- 一般県道奥の平時津線道路改良測量委託
- 有喜漁港開連道整備工事（測量及び設計委託）
- 主要地方道勝本石田線道路改良工事（事業認定委託）

1990

- 九州横断自動車道（中里地区2工区）上地測量業務
- 九州横断自動車道（中里地区4工区）建物等調査業務
- 雲仙復興工事事務所管内基準点網点検整備業務
- 下水道施設調査業務委託（その2）
- 総合運動公園確定測量及び施設調査作成業務委託（その1）
- 新水族館建設事業用地取得に伴う建物調査業務委託
- 那珂川砂防公園整備工事に伴う設計測量業務委託
- 水無川導流堤下流測量業務
- 県庁新別館増築事業に伴う物件調査業務委託
- 白浜クリーンセンター測量設計業務
- 雲仙普賢岳災害建物調査
- 雲仙地区砂防激甚災害対策特別緊急工事
- 一般県道雲仙千々石線道路改良工事測量設計委託
- 主要地方道藤原豆酸美津島線道路改良工事
- 主要地方道野母崎宿線測量設計業務委託
- 相川町四杖町線測量設計業務委託
- 主要地方道富江岐宿線特殊改良
- 一種測量設計委託
- 都市小江川（工区）川山地域防災機能強化総合山工事（用地測量業務委託）
- 福田排水区モデル事業設計業務委託
- 高田南墓地調査業務委託
- 都市公園台帳作成業務委託
- 下県地区測量設計業務委託（その2）
- 長崎県南部広域水道用水供給事業縦断測量委託業務（1工区）

沿革

- 昭和42年10月 九州オリエント測量設計株式会社 長崎市桜町に設立
- 資本金 100万円
- 代表取締役 中島健一
- 測量業登録
- 昭和53年2月 長崎市馬町に本社新築移転
- 昭和58年7月 一級建築士事務所登録
- 昭和60年1月 資本金 400万円に増資
- 昭和61年12月 資本金 1千万円に増資
- 昭和65年4月 補償コンサルタント登録
- 平成5年8月 諫早営業所を開設
- 平成8年11月 建設コンサルタント登録
- 平成9年10月 資本金 3千万円に増資
- 平成12年4月 佐世保営業所・対馬営業所を開設
- 平成14年12月 雲仙調査業登録
- 平成23年4月 雲仙営業所・南島原営業所を開設
- 平成24年4月 代表取締役 中島靖人 就任
- 五島営業所を開設
- 大村営業所を開設
- 平成25年3月 長崎県愛護団体登録
- 平成26年4月 国土交通省九州地方整備局
- 平成27年8月 長崎河川国道事務所
- 平成29年10月 災害協定締結（継続中）
- 国土交通省九州地方整備局
- 雲仙復興事務所 災害協定締結（継続中）
- 環境省 エコアクション21認証登録
- 宅地建物取引業者登録
- 会社創立50周年

旧測量機器たち



トランシット

六分儀

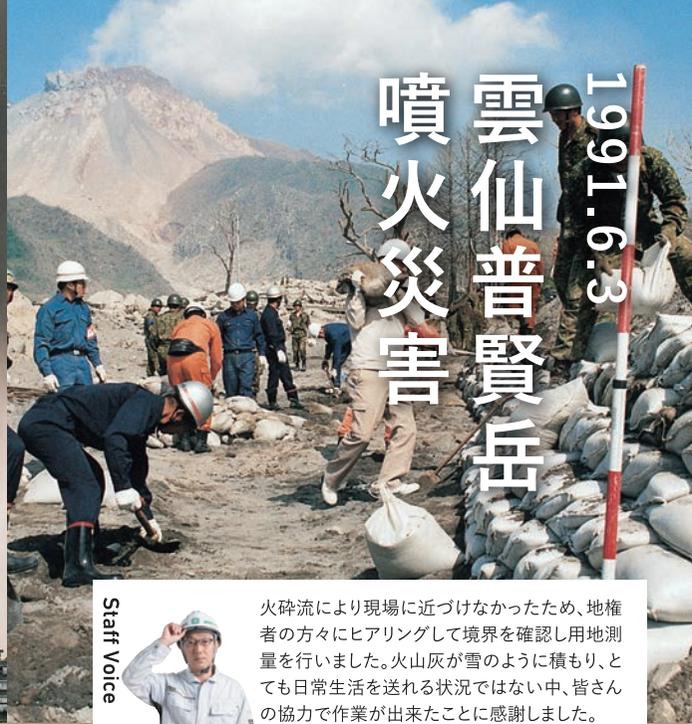
レベル

手回し計算機



雲仙普賢岳 噴火災害

1991.6.3



火砕流により現場に近づけなかったため、地権者の方々にヒアリングして境界を確認し用地測量を行いました。火山灰が雪のように積もり、とても日常生活を送れる状況ではない中、皆さんの協力で作業が出来たことに感謝しました。



Staff Voice

浦岡 幸則 / (S61年入社)

バブル景気が終わりにさしかかる頃、再び災害が起ります。
『雲仙普賢岳噴火災害』です。
一九九一年の噴火では長崎本土全域に降り積もるほどの火山灰が空を覆い、大規模な人的被害をもたらした火砕流が発生しました。麓の小学校は火砕流によって破壊され、農作物は被災前の水準へ回復するのに約十五年かかりました。

宅や墓地の調査業務に入り、噴火活動が落ち着いたら、一九九五年以降からようやく測量業務に着手し始めました。
日本では、一般企業にもパソコンが普及していき、図面作成は手書きからCADを使用するものが主流になりました。そして、日本はバブル崩壊後、「失われた二十年」と呼ばれる低成長期に突入していききます。

2017 維持管理 点検



人が病気に備え健診に行くように、構造物にも点検が必要です。劣化は日々進行しており「待たなし!!」しかしながら、生産人口の減少や、財源の不足で適切に管理できていない現状があります。



Staff Voice

川久保 雅也 / (H18年入社)

パソコンと携帯電話の普及が加速化し、時代はシステムの構築や管理といった時代に入ります。
オリエントでも二〇〇〇年を境に、システム開発やデータベース作成などの業務が増えています。それと共に、設立当初の高度経済成長期に建設あるいは整備されてきた構造物や建造物に対して、耐震診断や耐震補強、点検業務など、公共事業に変化が訪れます。
その転換期となったのが「阪

神淡路大震災」であり、「東日本大震災」「笹子トンネル天井板落下事故」など、社会資本の維持管理の重要性が示されています。
二〇一二年以降、オリエントでは本格的に道路構造物や橋梁点検などの維持管理事業へ本格的に着手し、長崎に暮らす皆様方がより安全に安心して生活できる環境をこれからも目指していききます。

2010

- ・南大浦地区ほか斜面市街地整備に係るアンケート調査業務委託
- ・町道子々川日並線測量調査設計業務委託
- ・道路構造物総点検業務委託(その1)
- ・歩道整備計画策定業務委託
- ・高潮被災地区調査業務委託
- ・漁港施設機能保全調査計画書作成業務委託(その2)
- ・出島表門橋及び周辺整備設計業務委託
- ・東古川通りまちなみデザイン作成業務委託
- ・被爆建造物点検調査業務委託
- ・長崎県亜熱帯植物園地すべり対策工事(観測業務委託)
- ・歩道整備マニュアル作成業務委託
- ・九州新幹線(西九州)47k2・48k4間土地調査測量他
- ・長崎市都市計画基礎調査業務委託
- ・道路ストック(法面・盛土・擁壁・付属物等)総点検業務
- ・市道橋梁定期点検業務委託(その1)
- ・長崎原爆遺跡(旧城山国民学校校舎)コンクリート調査業務委託
- ・端島炭坑跡護岸施設現況調査業務委託
- ・深堀地区景観形成重点地区広場測量設計業務委託
- ・銅座エリアまちなみ構想策定業務委託
- ・伝統的建造物(旧紅葉本館及び旧紅葉氏宅)保存活用計画策定業務委託
- ・長崎市歴史的風致維持向上計画策定支援業務委託
- ・旧長崎英国領事館地下埋設物三次元レーザー計測業務委託
- ・浦上ダム建設工事(流量観測・水質調査業務委託)
- ・端島炭坑跡入坑橋保存整備工事に伴う調査業務委託
- ・長崎振興局管内橋梁点検業務委託
- ・長崎原爆遺跡史跡指定記念展示展示資料作成業務委託
- ・旧城山国民学校被爆校舎応急措置工事に伴う調査設計・工事監理業務委託
- ・旧長崎市公会堂記録保存等業務委託

2000

- ・九州地区平成12年度雲仙温泉集团施設地区所管地測量業務
- ・泉町公園測量・地質調査設計業務委託
- ・長崎市法定及び法定外公共物譲与申請業務委託
- ・南串山町法定外公共物譲与申請業務委託
- ・綿蛾ノ瀬戸航路深淺測量
- ・一般公共物海岸区域台帳作成業務委託(1工区)
- ・交通測量調査業務委託(出島バイパス)
- ・北陽公園測量設計業務委託
- ・平成15年度外海町法定外公共物譲与申請業務委託
- ・南串山町農地地図システム業務
- ・雲仙復興事務所管内巡視業務
- ・平成16年度街区基準点測量作業(福岡県北九州市門司地区)
- ・平成16年度雲仙温泉園地測量設計業務
- ・老朽危険空き家調査業務委託
- ・平成16年度交通事故統合データベース作成業務委託
- ・立山地区建替促進事業計画作成業務委託
- ・平成17年度鹿子前園地(長尾半島)用地測量業務
- ・方閣瀬戸航路水路測量
- ・基礎調査(区域設定)業務委託(牟浦町他7町)
- ・女神大橋整備効果検討業務委託(供用後実態調査)
- ・平成17年度雲仙市農地基本台帳システム業務委託
- ・平成18年度長崎県外都市再生街区基本調査に係る公図の標定・成果図作成その他業務
- ・五島地区海岸台帳整備業務委託
- ・生月地区広域漁港整備工事
- ・(生月漁港漁港台帳図面作成)
- ・地籍調査事業過年度分敷値情報化業務(その2)
- ・一般国道384号特殊改良工事(測量業務委託)
- ・対馬地方局管内海岸台帳作成業務委託
- ・都市再生街区基本調査(土地活用促進調査)作業(長崎県佐世保市A地区)
- ・長崎大学(文教町)2敷地測量等業務
- ・榎川通常砂防工事
- ・(流域砂防基本計策定等業務委託)
- ・銅座川周辺測量・地質調査及び設計業務委託
- ・建築基準法第42条第2項、3項道路調査・台帳整備委託業務(大村市)
- ・佐世保港相浦地区浮桝橋細部設計業務委託
- ・西海市汚泥再生処理センター整備に係る敷地造成設計業務委託

2010

- ・河川台帳作成業務委託
- ・東長崎地区(松原・古賀・中里)都市計画道路費用便益分析業務委託
- ・進都市計画区域内道路等の実態調査(県央地区)今里地区山地災害総合減災対策治山工事(測量及び試験)
- ・長崎県交通安全施設整備事業計画策定業務
- ・九州新幹線(西九州)補償調査業務委託(その5)
- ・深堀合同庁舎ほかバリアフリー化に伴う実施設計業務委託
- ・東長崎地区将来交通量推計業務委託
- ・一般国道499号道路改良工事(用地測量業務委託)
- ・波佐見町管工業団地整備事業に伴う実施設計等業務委託
- ・中央卸売市場卸売棟耐震診断・耐震補強実施設計業務委託
- ・五島地区機能保全事業業務委託(戸岐漁港・三井漁漁港)
- ・雲仙グリーンロード2期地区橋梁耐震補強設計業務委託
- ・田尻地区排水路測量設計業務委託(その4)
- ・三宇田海岸ふるさと輝くみんなの水辺づくり工事(調査設計業務委託)
- ・十善寺地区交通解析業務委託
- ・道路交通情勢調査業務委託(資料作成)
- ・大島臨港地区自転車専用道路測量調査設計業務委託
- ・対馬地域新病院地盤調査業務委託
- ・県央地区農地海岸台帳整備業務委託(その2)
- ・南部処理区(籠町ほか)管渠実施設計
- ・(更生土)法詳細設計業務委託
- ・久山地区下水管渠実施設計業務委託(その1)
- ・中島川・寺町エリア(寺町通りほか)まちなみ景観計画策定業務
- ・東山下地区地すべり対策工事(調査観測業務委託)
- ・江迎処理区管渠実施設計業務委託
- ・高浜ダム事業事後評価検討業務委託
- ・対馬振興局管内ダム施設緊急点検調査業務委託
- ・特定交通安全施設等整備事業計画
- ・指定道路策定業務委託
- ・土砂災害(ハザード)マップ作成業務委託

2000

オリエントでは50年間で
3,593件の業務をさせていただきました。

3,593 件
50 年

新測量
機器たち



レベル

3Dレーザースキャナ

GNSS

KUMONOS

こんなこともしています。

意外!?

意外① 出島関連



2000人を超える市民が見守る中、中島川に架けられた出島表門橋。[2017.2.27]

テコの原理を応用した
平成の表門橋完成!

長崎市が一九五二年よりスタートし、
着手から百年後の二〇五〇年を目
標に出島の完全復元を目指してい
る出島復元整備事業。二〇二六年
までに十六棟の建造物復元や護岸
石垣の顕在化が完成し、二〇二七年
には、当時と同じように海を渡って
出島に足を踏み入れることができる
「出島表門橋」が架橋されました。
オリエントは、出島表門橋架橋プロ

ジェットの設計チームの一員として、
出島表門橋と中島川公園など設
計及び工事におけるデザイン監理を
行いました。

設計した出島表門橋は、
①出島への眺望を妨げないために、
橋の上部に構造物が出ないこと
②防災面に配慮して河川内に柱を
立てないこと
これらをコンセプトとしています。片
側だけでテコの原理で全体を支える
という橋は、世界的に見てもほとん
ど例がありません。



約130年ぶりに出島表門と対岸がつながる瞬間。



Staff Voice

出島表門橋や周辺公園整備を市内外に向けて発信する「DEJIMABASE」を起ち上げ、笑顔になるイベントを企画・運営しています。

松尾 大介 (H15年入社)



Staff Voice

プロジェクトで大きく広がった人脈で社内新しい風を吹かせたいと思います。見た目と違って結構マメです。

江口 忠宏 (H21年入社)

意外③ 原爆遺構

旧城山国民学校(現・長崎市立城山小学校)は爆心地から約五〇〇mに位置し、原爆の被害を受けた数少ない建造物です。被爆校舎の三次元レーザ測量、直接損傷部分などへ触れずに計測できるひび割れ計測機器「クモノス」などの最新技術を用い、被爆痕跡、コンクリート等の損傷状況の把握、現状の記録化から変遷の考察まで実施。歴史的・文化的建造物を保存していく上で必要な業務にも携わっています。



2016年、国の史跡に指定。敷地内の新校舎と共存し「城山小平和祈念館」として一般公開中。



Staff Voice

長崎だけでなく、日本及び全世界が次世代に継承すべき歴史遺産。保存業務に携わることは、一長崎人としても誇りです。

山田 作 (H6年入社)

意外②

端島調査



端島(通称・軍艦島)は、明治時代から急速な発展をとげた炭鉱業に関する文化遺産として二〇一五年に世界遺産登録された無人島です。オリエントは同年、端島の護岸施設現況調査や生産施設の調査に携わってきました。調査を行った生産施設は、通常立入禁止エリアとされており、繁栄当時のまま残された巨大な建物は一部が崩壊し、周囲はコンクリートやガラス、鉄筋などががれきりと化し、そこに人の営みがあったことを感じさせるものなどが散乱する異様な雰囲気でした。また、島へのアクセスが制限されたことや、島内に電源がないことなど、調査には多くの制約もありましたが、ドローンや三次元レーザースキャナーなど最新技術を用い、建物の破損状況の調査、コンクリートや鉄筋などの材料調査、試掘調査、施設周辺の測量等により保存整備のためのデータ収集する業務を行いました。



Staff Voice

一般の人は外観をみることしか出来ない中、私たちは内部に入り直接施設に触れることで、より深く歴史の息吹を感じられました。

松野賢二 (H23年入社)



意外④ ドローン

当初は社長のおもちやと言われていましたが、導入一カ月後に土砂災害現場(雲仙市小浜町)を撮影したのを皮切りに、百時間を超えるフライト実績があります。現在は魚の町遺跡発掘現場での空中撮影を行い、国土交通大臣許可のもと安全にフライトできる体制を整備しています。



Staff Voice

土砂崩れの現場や災害で被災した状況などを、最適な位置から、安全且つ迅速に確認することができます。

田中 甫脩 (H23年入社)



南串山 災害時の様子



GOOD DESIGN AWARD 2015

2014年 長崎市まちぶらプロジェクト認定事業
2015年 GOOD DESIGN賞 受賞

雨の足音プロジェクト



地域・学校・企業・
行政が連携！
雨を活かした地域づくり

♪長崎は今日も雨だった♪...そう歌われた長崎は、日本有数の観光地。雨が似合うとはいえ、旅先での雨には残念な気持ちになります。ですが、長崎には雨をプラスに変換できる様々な資源があります。その資源に雨を組み合わせ、雨を活かした地域づくりを目指していくのが「雨の足音プロジェクト」です。オリエントが発起人となり、地域、長崎県立大学、長崎市と連携して行いました。

まず取り組んだのは、雨の日の観光が楽しめるマップ作り。実際に学生が街を歩き、フィールドワークをもとに作成。雨が降っているからこそ楽しめる景色や情緒、雨の日でも傘なしで行ける場所などを紹介しました。撥水性の紙を使用し、実際に雨の日の長崎を観光するユーザー目線で作られています。完成したマップは、周辺の商店や宿泊施設等に加え、「雨の日おもてなし店舗」と称し、雨の日限定の独自のおもてなし活動を募る協力店に設置され、多くの人の手に渡りました。雨のネタタイプ要因をポジティブへ変換した点などが評価され、グッドデザイン賞(地域・コミュニティづくり)を受賞しました。



眼鏡橋の近くでイメージ写真も撮影しました。モデルを務めてくれたのはオリエント社員の子どもたち。

Staff Voice
大学生の発想力や瞬発力、柔軟性に感心し、刺激をもらいました。
生田 智志 (H14年入社)

Staff Voice
今度は地域の子供たちと[秘密基地MAP]を作りたいです。
田中 純子 (H19年入社)



長崎市田上市長に受賞報告。

3D系

3DVR
近年、土木の世界においても3D技術の活用が求められており、オリエントでも3Dに関する業務や提案を行っています。ただ、一言に3Dと言っても、その作成方法や用途は様々です。

3D技術を活用した事例として、二〇一一年「中島川・寺町エリア(寺町通りほか)まちなみ修景計画策定」において、景観検討のために「3DVR」の技術を用いました。まず二次元レーザースキャナを用い、現地の道路や構造物に対してレーザーを照射し、数万点以上に上る現地の情報を点データとして取得し、実際の現地写真を基に、よりリアルな仮想空間(VR)を作り上げることで、舗装材やライトアップの提案を行いました。この際に作成したデータは、ソフト開発会社FORUM8主催の「第11回3D・VRシミュレーションコンテスト」(二〇一二年)で「準グランプリ」を受賞しています。※当時のグランプリはトヨタ自動車(株)



寺町 3DVR 準グランプリ受賞作品

完成イメージをリアルに提案できる。
建造物を立体データで未来に残せる。

3Dモデル

図面や写真、絵などのように平面的な二次元で表現していたものに対し、実際の対象物の形状や色、質感などを再現し、角度や視点、点を自由に換えられ、それを立体で表現したものが3Dモデルになります。

オリエントではその実績として、「深堀地区景観形成重点地区広場測量設計」において、CG(コンピュータグラフィック)による3Dモデルと写真との合成により、リアルな完成イメージパースを作成しました。その他、旧長崎市公会堂の記録保存として、CGによる3Dモデルを制作し、城山小学校の基礎遺構については、様々な角度から撮影した写真を基に3Dモデルを制作。原爆資料館で来場者がマウス操作で立体的に見られるようにしました。今後は3Dモデルの制作だけでなく、VRやARなどの様々な3Dの活用も含め、更なる技術力提案力の向上を目指しています。

Staff Voice
この仕事の醍醐味は、初めて見た人の反応。大体「おお～」ってなります。実は3Dなんて全くやったことはなく、今でもなかなかの無茶ぶりだったと思います。
中道 弘明 (H18年入社)



3Dモデル



実際の完成写真

深堀地区景観形成重点地区広場測量設計

街への寄贈

オリエントでは長崎市をはじめ、各種法人などへの寄贈を行ってきました。パブリックな場所を快適にするもの、地域の様々な活動をサポートするものを寄贈しています。

1983年

長崎大水害以降11年間、長崎市に「査察車」を寄贈。その他、テレビ等を寄贈。



本島 等 元長崎市長より感謝状

1992年

会社創立25周年を記念して長崎市及び社会福祉協議会へ乗用車を寄贈。



本島 等 元長崎市長より感謝状

寄贈式:長崎市役所前



1997年

亀井静香 建設大臣(当時)より初代社長個人として測量事業振興に伴う表彰を授与される。

1999年

長崎市へ背もたれベンチを寄贈。公園等に設置される。



伊藤 一長 元長崎市長より感謝状



寄贈式:田上市長と。

2007年

会社創立40周年を記念して長崎市へ乗用車を寄贈。



田上 富久 長崎市長より感謝状



2008年

南島原市へ北村西望作「天女のレリーフ」を寄贈。初代社長個人として、「南島原思民」の表彰を授与される。

北村西望(1884-1987)長崎県南高来郡南有馬村(現・南島原市)出身。日本を代表する彫刻家、美術家。代表作に「長崎平和祈念像」など。



「天女のレリーフ」寄贈式:
(左)松島佳佳 元南島原市長 (右)オリエント初代社長 中島健二

街愛 社会貢献活動

1 愛護活動

まちを清掃しています！
眼鏡橋で知られる石橋群が架かる中島川沿いや出島エリアの清掃活動を、五年前より行っています。地元の方々にも、観光客の方々にも心地よい憩いの場所、思い出の場所になることを願っています。



出島のPRも兼ねて、DEJIMA AGAINのTシャツを全員で着用し活動。

4 災害協定締結

復旧・復興の経験を活かす。

長崎大水害や雲仙普賢岳噴火災害はもちろん、規模に関係なく様々な天災に携わってきました。今後も迅速かつ安全に天災に対処し、さらには若い人材にその技術を継承するのも私たちの役目。これからも災害発生時には、皆さんの安全確保と復旧・復興に全力を注いでいきます。

- 国土交通省 九州地方整備局 長崎河川国道事務所
土木施設の災害時における緊急測量、設計等。
H25年4月1日～
- 国土交通省 九州地方整備局 雲仙復興事務所
一般的測量および簡易的な設計等。
H26年4月1日～



2 エコアクション21の認証登録

社内外でエコな活動中！

環境省が策定したガイドラインに基づいたエコな取り組みを行っています。小さなことですが、自然とまちを愛する企業として広めていきたい活動です。みんなが変われば、大きく変わると考えます。

[取り組み事例]
節電、節水、定期的なオイル交換、裏紙の活用、環境負荷の小さいグリーン購入



3 救急サポートステーション

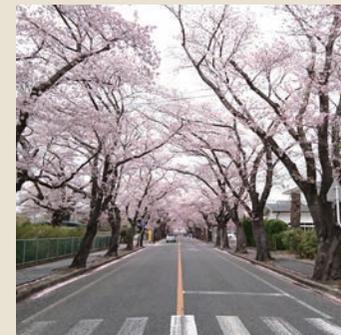
オリエントでは、会社周辺で突然けが人や病人が発生した場合に、二九番通報や救急隊到着までの間の応急手当てなど協力できる社員がいます。



5 ふくしま浜街道・桜プロジェクト参加

「笑顔の復興」もしたい！

東日本大震災で大きな被害を受けた福島県浜通り地域に桜を植樹し、復興のシンボルとして後世に残すプロジェクト。オリエントも賛同し5本の桜を贈りました。ハード面の復興に限らず「笑顔の復興」「心の復興」にも力を入れていきます。



オリエントの社会貢献活動をご紹介します！
企業として果たしたい責任、長崎への愛を持って取り組んでいます。

Social Contribution Activities



オリエントの技術をいかしたプロジェクトや、記憶に残るプロジェクトを実施しました。

2017.8.21~9.15

千々石ミゲル発掘調査支援プロジェクト

棄教していなかった!? 定説を覆す 発見に関わる!

社員二名を発掘現場へ派遣。

十六世紀にキリシタン大名の名代として欧州へ派遣された「天正遣欧使節」四名のうちの一人、千々石ミゲルの墓とされる墓碑（長崎県諫早市）の発掘調査。オリエントでは、五十周年プロジェクトの一環として、完全ボランティアで二名の社員を現地に派遣しました。



千々石ミゲルの子孫・浅田昌彦氏（左）も見守る中、発掘調査は進んだ。



作業をするオリエント社員。



ロザリオの一部とみられる玉

出土した人間の歯

写真提供：千々石ミゲル墓所発掘調査実行委員会

発掘されたロザリオの一部とガラス片。「(棄教したという)説を覆す遺品の出土に関わることができ、正直鳥肌ものだった。」と、オリエント社員。



記者発表の様子。[2017.9.8]

歴史的発見に関わる!

十九日間に渡る発掘で、ミゲルのものと思われる歯、ロザリオ（キリスト教の祈祷で使われる聖具）の一部とみられる玉が出土。ミゲルは、天正遣欧使節の中でただ一人、棄教したとされてきましたが、今回の発見で信仰を捨てていない「潜伏キリシタン」だった可能性が高まりました。これらの遺品は、オリエント社員が発掘中に発見しました。完掘した九月八日に行われた記者発表には多くのメディアが集まりました、歴史的発見への注目度の高さが伺えました。今回の支援が長崎へのご恩返しにつながることを期待しています。



長崎、天草に点在する遺産をマップにまとめました。

2017.4.11~7.31

ベースマップ寄贈

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産支援プロジェクト

世界文化遺産候補「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、潜伏禁教の時代を物語る十二の資産で構成されています。

そこで、当社の技術を生かしたPRができないかを検討し、点在する各遺産のマップを制作しました。国土地理院などの地図を元に、原城跡や大浦天主堂など全十種類の地図を作成。下準備期間を含め、三ヶ月かけて完成させました。

「どこにあるのか」「なぜそこにあるのか」を正しく理解し、その歴史的価値をPRする活動に役立てていただきたいと思っています。



贈呈式(左)松川久和文化観光国際部長 [2017.8.10 文化観光国際部長室にて]

ベンチ製作

出島表門橋で使用された同じ木材を譲り受け、ベンチを設計・製作しています。今後、出島対岸の公園への寄贈を検討しています。



新社屋前にサイン設置

出島表門橋のモックアップの一部からできています!

二〇一七年、国指定史跡「出島和蘭商館跡」に新たな出島表門橋が架けられ、鎖国時代の日本と西洋とを結ぶ唯一の窓口だった橋が、約百三十年ぶりによりみがえりました。出島表門橋の製作にあたっては、様々な観点から検証を行うため、長さ約六メートルのモックアップ(原寸大の模型)が製作されました。オリエント新社屋前に八月に設置されたこの看板は、そのモックアップの一部を譲り受け、出島表門橋の設計に携わったことを記念して製作しました。



看板の表面は普段見えない橋の内側。

話そう 長崎のこと 1 雨の足音プロジェクト

二〇一五年グッドデザイン賞を受賞した「雨の足音プロジェクト」。今年七月、プロジェクトの実行部隊となった長崎県立大学 庄山ゼミの皆さんがオリエント本社に集まり、プロジェクトを通して発見した長崎について語り合いました。

「雨の足音プロジェクト」を通して
どんな収穫がありましたか？

江頭 「長崎の魅力を伝えよう」という意識で街を歩くことで、それまでにない新鮮な目線で発見ができました。例えば、小さな天満宮の存在に気づいて、そこにまつわるストーリーにへえと思ったり。私自身、これまで観光する時や外出する際には雨の日は避けたい

進め方なども指導していただきました。私が、マップの形状を良かれと思いついて提案した時は「そういう時は、まず当初の予定通りに作ってみて、さらに自分の案を作って説明することが必要」だと。
庄山先生 常に建設的なフィードバックをいただけたことが、チームワーク向上につながりました。
溝上 制作したマップ設置の依頼の際、プロジェクトの趣旨についてご理解



と思っていたのですが、石畳の道が雨に濡れて情緒ある風景が生まれることなどに面白みを感じました。

清 同感です。私は宮崎県出身。雨ならではの雰囲気だせるのは長崎ならではだと思います。晴れでも雨でも観光ができる長崎県というイメージを広めることができたなら、他にはない強みを持つ観光資源になると感じました。こんなに素敵な街に自分はいるんだ！と



いただけるよう伝えることに苦労しました。そのやりとりからも学ぶことは多かったです。自分たちがしていることを知ってもらうというこの大切さ、難しさを感じました。
江頭 最終的に応援してくださいの方がほとんどで、「在庫がもう無くなったよ」とお声かけ頂いた時はとても嬉しかったです。地域の方のご協力あってこそそのまちおこしなのだと思えました。

今後の街づくりの鍵となる
「街の資産」は何だと考えますか？

庄山先生 美しい光が厳肅な雰囲気と神秘的な空間を作り出し、世界平和の祈りを象徴している教会のステンドグラスに魅力を感じています。今では、学校、駅、病院、ホテル、住宅など様々な建築空間において光と色の芸術作品として人々に親しまれており、心



プロジェクト実施当時の写真。(2015年)

誇らしくもなりました。
溝上 地元に住む私たちも知らなかった魅力を改めて学ぶことができる良い機会だったと思います。



庄山先生 プロジェクトを通して、社会人基礎力を育ててほしいと学生を送り出しました。オリエントさんをはじめ地域の皆様が指導者として、これから社会で活躍していくための大切なことを学生に教えてくださいました。
清 はい。多くの方に様々なことを教わりました。オリエントさんには物事の

を癒すなどの効果をもたらしていることにも注目しています。オリエントさんはいかがでしょうか。

中島 文化財関係の仕事をしていいますが、そういったもののアピールはまだ足りないと思います。長崎は観光が主たる産業ですので、新たな資源の発掘をしていきたいですね。あとに残せる仕事を増やしたいと思います。



清 私は「猫」をあげたいと思います。本プロジェクトで、長崎の猫は尻尾が鍵状になった「尾曲がり猫」であるという特徴を教わりました。この特徴が非常に衝撃的で、長崎ならではの魅力の一つに感じました。香川県の猫島が野生の猫で観光客を集客しているので、長崎でも猫のブランディングを行ってはどうかと思っています。

江頭 長崎駅周辺の商業施設や周辺の道路等が新しく整備されます。街の玄関である場所が新たに開発されるこ

雨の足音プロジェクトメンバー



庄山 茂子 教授
専門は色彩計画、環境デザイン学、色彩心理学、被服心理学。
現：福岡女子大学学長補佐教授。



溝上 夕稀 さん
現在は長崎県内の学校に勤務。



清 竣喜 さん
現在は長崎市のIT企業にウェブディレクターとして勤務。



江頭 絵里沙 さん
現在は長崎県内の銀行に勤務。

とも観光資源のひとつになるのではないかと考えます。

溝上 出島復元事業です。今年度は出島表門橋も架けられました。全体の完成は二〇五〇年と長期的な計画ではありますが、長崎の歴史を未来に残していくこの事業の過程においても様々なイベントや企画が生まれ、長崎らしい観光資源になっていると思います。

中島 街の魅力、雨をポジティブに変換する要素を発見し、地域の方々とながら、これからのまちづくり・地域振興を考えられるところまで広がっていますね。プロジェクトのキーワード「みつめる」「つながる」「ひろがる」を体現できていることを嬉しく思います。



庄山先生 学生・地域・企業が連携したプロジェクトが、グッドデザイン賞受賞という形で認められたことも嬉しいですね。またこうして集まれる機会をいただきたがとうございりました。

長崎のこと2

住んでいると気付かない?!

県外在住者が語る 長崎の魅力。

出島エリアの仕事やプロジェクトに携わるみなさんに
長崎についていくつかの質問とインタビューを行いました。
客観的な視点だからこそ発見できる魅力の中にも、
これからのまちづくりのヒントが隠れていそうです。

紹介します!



DEJIMA BASE デジマベース

出島エリア地域と共に盛り上げるために立ち上げられた市民団体。
「DEJIMA AGAIN」ロゴの制作や出島ボーズ、出島飯囲いプロジェクト、ミッフィーかくれんぼ、現場見学会、一括架橋イベントなど、様々な企画を実施しています。オリエントは賛助企業として全面的にバックアップしており、社員も中心メンバーとなって活動中。

過去と未来を同時に 感じる「DEJIMA」へ。

PROFILE...1976年佐賀県生まれ。北海道大学土木工学科卒業後、東京大学大学院景観研究室にて篠原修に師事。2003年土木デザインを専門とする設計事務所EAUを共同設立。主なプロジェクトに熱海渚小公園・渚親水公園(静岡)、旧佐渡鉱山遺跡広場(新潟)、中央橋(長崎)など多数。自称シビレル・エンジニア。



KOICHIRO SAKITANI

出島対岸の水辺の公園の設計担当
崎谷 浩一郎さん
株式会社EAU
代表取締役

このようなプロジェクトに関われる機会は一生に一度。悔いのないように全力を尽くそうと誓って臨みました。あくまで主役は出島。いい意味での余白をつくるのがこの公園の役割です。これから、過去と未来を同時に感じるような、いつでも最先端の価値を帯びている場所になってもらいたい。誰も見たことのない風景が生まれ、感動を呼び、人々の記憶に残る場所。そして世界中から人や文化が集まる「まさに出島」という場所になることを夢見ています。

長崎のことが好き!

現代人は精神的にあまりゆとりがありません。長崎人の「よかよか文化」は心に余白を生み出して、忘れかけていたゆとりを思い出させてくれます。それは単なる優しさとは違う、この土地で暮らし続けている長崎人だけが持つリズムだと思っています。

長崎の印象を一言で

新しいものに寛容なまち
ひとつだけ出島から輸出するならば?

歴史、自然、食。 すべて豊かな街。

PROFILE...1976年山梨県生まれ。東北大学大学院都市建築学専攻修士課程修了。Ney&Partners(ベルギー)へ勤務し橋梁デザインに取り組む。(株)ネイ&パートナーズジャパンを共同設立。橋梁を中心とした土木構造物の設計など構造(技術)的アイデアを軸に、デザインと構造が融合した切り口の提案を行っている。主なプロジェクトに札幌路面電車停留所、三角港キャンビー、長崎駅前広場、鉄道駅舎など。



RYUICHI WATANABE

出島表門橋と
キャンビーの設計担当
渡邊 竜一さん
株式会社ネイ&パートナーズ
ジャパン
代表取締役

日本で初めて関わる橋の設計を受け入れてくれた土地。たくさんの方との出会いがあり、その中で現代の橋を生み出したことへの感謝。架橋後も通い続ける第三の故郷。出島エリアにはこれまでも、これからも日本の最先端で!

長崎のことが好き!

おほかさ。歴史資源が豊富で、風景もたくさん素晴らしい場所が残っている豊かな土地であること。僕にとっても地元富山吉田、ブリュッセルに次ぐ第三の故郷。人がきれいでやわらかい印象、たべものが美味しい。長崎弁を含め、音が心地よい。

長崎の印象を一言で

様々な文化が混ざった多様な街、ちゃんぽん。
ひとつだけ出島から輸出するならば?
出島という歴史

特別ではない、暮らしの 一部になれる公園。

PROFILE...1964年新潟県生まれ。CI、ブランディング、施設ロゴ及びサインデザイン、空間ディレクション、広告、パッケージデザイン、商品開発、エディトリアルデザイン。主な仕事に、表参道ヒルズロゴ&館内グラフィック、東京スカイツリー展望台ロゴ&壁面演出、スルガ銀行「d-labo」ロゴ&ウェブサイト等のアートディレクションやデザインがあり、様々な企業とのプロジェクトを進行中。



NAOYUKI SUZUKI

公園等のアートディレクション・デザイン担当
鈴木 直之さん
株式会社ダイアグラム
代表取締役

一九五〇年からスタートしているプロジェクトに参加させていただいたことをとても感謝しています。私は出島対岸の水辺の公園のサインデザイン、PR活動のアートディレクションやデザイン等を行いました。歴史的にも貴重な場所ですが、特別なことではなく、日々の暮らしの中の思い出ができる場所になって欲しいと願っています。

長崎のことが好き!

西洋文化の入口、キリスト教伝来の地、カステラ...。実は長崎には来たことがなく、教科書で習った一般的なイメージしか持っていませんでした。今回、新たに感じた長崎の魅力は、新しいことを受け入れ、自分達の財産にできる街の度量。方言のリズム感や抑揚も素敵ですね。

長崎の印象を一言で

変化を拒絶しない、柔軟な思考のある街。
ひとつだけ出島から輸出するならば?
伝統芸能「鳥刺し踊り」

これが未来の長崎だ！

オリエント社員が未来の長崎を予測・妄想。
壮大なまちづくりプランを
未来予想図へ落とし込みました。

時は2×××年。
長崎は、歴史的・
文化的価値を
残しながらも、
最先端の住みやすい
街に進化していた！。

出島は、宇宙との窓口へ。現在の出島と、地球軌道上の宇宙ステーションが超高速エレベーターで結ばれている。ステーション内には宇宙人専用観光局が設置されており、長崎の若者の人気の就職先となっている。

ビッグNスタジアムは海上を自由に移動。長崎、佐世保をはじめとした港町でプロ野球公式戦を誘致し、スポーツ観光の一端を担っている。

ロープウェイ、電車、バスなど、すべての交通インフラはターミナル駅で集約されており、暮らしやすい街・観光しやすい街で十年連続ランキング入りを果たす。

街のシンボル・眼鏡橋は、そのモチーフが巨大な橋にも取り入れられるようになった。
紫陽花街灯が設置され「美しい照明システム」として注目を浴び、他の自治体で桜タイプ、チューリップタイプも作られることになった。

歴史的建築物、世界遺産である端島などは、最新の測量技術でそのままの姿で残されており、歴史的地球遺産として宇宙でも注目され、人気の観光スポットとなっている。人とベンギンが共に暮らす分譲マンションは、先端のダイバーシファイフスタイルとして推し進められている。

オリエントでは、二〇一七年当時の機器は全てGoogleに内蔵。取得したデータは瞬時に全社員で共有できるシステム「ORIENTナウ」により、時短勤務も実現。独自に開発したドローンで特殊なボードを持ち運ぶサイシステムは、実現から半世紀が経つものの、日時を指定し既存の建物の邪魔をせず掲出できるとして、まさに優しいメディアとして活用されている。

仕事の方法は機器の進化とともに大きく変化したものの、街を愛する気持ちは変わらず受け継がれている。





新しいロゴに落とし込んだ思い

『空と大地を人の技術と創造でつなぐ会社』を表しています。
上が「空」、下が「大地」。その中心には「まち」や「緑」が共生し、
人の技術と創造で新しい「道」や「橋」をつないでいます。
中心には、私たちが何よりも愛する長崎への思い『I(愛)』があります。

50周年を機に 社名とロゴを変更しました。

1967年創業よりご愛顧いただきました
「九州オリент測量設計株式会社」の名称。
50年の節目を迎えるにあたり、
更なる業務拡張とイメージアップのため、
2017年10月1日から社名を
『株式会社 オリент アイエヌジー』といたしました。

新しい社名に、
想い新たに、

orient  ing

株式会社 オリент アイエヌジー

新しい社名に込める思い

全てのことに對して「現在進行形」で向き合い、常に動き生み出す企業を目指しています。

- 人と自然の共生を目指している。
- アクションを起こしている。
- 今、この瞬間を大切に全力を注いでいる。

社長あいさつ

Greeting from the President

株式会社
オリेंटアイエヌジー
代表取締役 中島 靖人



当社は、二〇一十七年十月一日を
もちまして創立五十周年を迎
えました。これもひとえに皆様
方のご愛顧とご支援の賜物と
厚くお礼申し上げます。
創業から五十年、私たちは、社会
資本整備と地域の生活基盤再
生で培ってきた技術と実績を
軸に「人と自然・技術と創造」
の経営理念のもと、皆様方と
共に歩み、成長してまいりました。
私自身、長崎大水害を体験し、

雲仙普賢岳噴火災害では現場
作業を経験し、ふるさと、長崎
の再生を見てきました。
様々な歴史や文化の中、先人た
ちが幾重の困難、試練を乗り越
えて引き継いできた、ふるさと、
をまた新たな知恵を生み、後世
へと継承していかなければなら
ない使命が私にはあります。
『オリेंटアイエヌジー』は、
「ふるさと」の魅力あふれる資
源や、潜在化している新たな資
源を創出し、より、ふるさと、へ
の期待感や刺激、あるいは希望
を次世代に示し、導いていく企
業を目指していきます。
今後とも、ふるさと、長崎を
もつとも愛する企業として、社
員一同心を新たに、皆様方
のご期待に応えられるよう最
大限の努力をしております。
これからも、まちと人と共に

Special thanks

雨の足音プロジェクト 福岡女子大学 国際文理学部 環境科学科
教授:庄山茂子
長崎県立大学卒業生:江頭絵里沙/清 竣喜/溝上夕稀

DEJIMA BASE (株)イー・エー・ユー 代表取締役 崎谷浩一郎/(株)ダイアグラム 代表取締役 鈴木直之/
(株)ネイ&パートナーズジャパン 代表取締役 渡邊竜一

Orient Talking #01 (株)共同技術コンサルタント福岡支店 支店長 松永昭吾

50th project Special thanks

(株)大島造船所/奥野建築設計事務所/家具づくりsur+/(株)コーロラインズ/(有)里商会/(株)シマテツ/(株)ダイアグラム/
東京メタリコン(株)/(株)林田スチールテックス/(株)プラネット/(株)プロダクションナップ/(有)ブングル/(株)ポップアート/
(株)丸栄組/(株)水上洋行長崎営業所/千々石ミゲル発掘調査実行委員会/長崎県文化観光国際部世界遺産登録推進課

Staff List

構成・編集	株式会社 オリेंटアイエヌジー 村川 マルチノ 佑子 (DEJIMAGRAPH)	発行	株式会社 オリेंटアイエヌジー 〒850-0022 長崎県長崎市馬町55番地 TEL:095-821-5656 FAX:095-823-4420 http://www.orient-ing.co.jp/
デザイン	羽山 潤一 (DEJIMAGRAPH) 西村 明洋 (DEJIMAGRAPH) 大久保 舞花 (DEJIMAGRAPH)	企画	株式会社 オリेंटアイエヌジー
写真	仲地俊裕写真事務所	印刷・製本	株式会社インテックス
イラスト	タナカ リヨウスケ/これが未来の長崎だ!		

オリेंटアイエヌジーの
スタッフとともに

Together with the staff of
Orient Ing Co., Ltd.

